



イマジン
ロータリー

Dist.2620 THE ROTARY CLUB OF SHIZUOKA

Weekly Bulletin

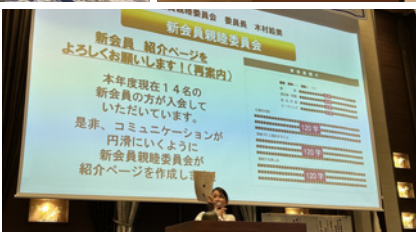
IMAGINE ROTARY
イマジン ロータリー

国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ

静岡ロータリークラブ ●例会日/毎週月曜日12:30~13:30 ●例会場/グランディエール ブケトーカイ TEL.273-5225
●会長/望月 啓行 ●副会長/平尾 清 ●幹事/藤田 博久 ●副幹事/番匠 俊行

2022-2023 4月10日  第3658回例会

ゲスト卓話「東アジア文化都市と舞台芸術の役割」



●ロータリーソング●



ソングリーダー
川辺 哲君

成島洋子さん

国際ロータリー第3820地区 (フィリピン)

ガバナーエレクトご一行

ガバナーエレクト

ウィリアム・デローロさん

令夫人 地区公共イメージ向上役員

アン・デローロさん

地区次年度国際奉仕委員長

ジーン・ロポさん

●ゲスト紹介●

静岡県舞台芸術センター 芸術総監督

宮城 聡さん

静岡県舞台芸術センター 芸術局長

地区幹事

ライアン・バスタレチェさん

地区幹事

ウィルフレッド・ニカダオさん

会長エレクト (ナガRC)

ジョナサン・ラオさん

令夫人

ニーナ・ラオさん

ガバナー補佐 パスト会長

リッキー・ロサレスさん

ロータリアン

ニクシー・ニクダオさん

浜松ロータリークラブ

海野育男君

静岡ローターアクトクラブ会長

藤島滯奈さん

● 会 長 挨拶 ●

会長 望月 啓行君

本日は、フィリピン国際ロータリー第3820地区からウィリアム・デローロ・ガバナーエレクトはじめ、次年度3820地区チームから8名の方に、この例会に参加をいただきました。

First, thank you to DGE William and Philippine District team. Welcome to Shizuoka rotary club.

We appreciate your team joining our regular meeting. This opportunity is also precious and exciting for us. We hope you enjoy Shizuoka City and establish a strong

network between you and our district from this opportunity. さて、本日は「ロータリーの旅」という題名で話をさせていただきます。みなさん、コロナもようやく落ち着いてきましたが、最近旅行に行かれましたでしょうか？そろそろ出かけた方も多いと思います。でも、なぜ人は旅行に行くのでしょうか？そして旅行に行くと、皆さん自身にどのような変化があるのでしょうか？今日はここから入っていきたいと思います。2013年に観光庁が「旅行による効用の検証」を特に高齢者等を対象に調査を行いました。このスライドのグラフでまとめてありますが、それを見ると、旅行の主な目的として「リラックス」「趣味・楽しみ」「初めて訪れる場所の文化や地元の人々とのふれあい」です。そして「旅行経験に基づく身体機能の変化」があったと言う人が4割弱、また「健康増進効果」が期待できるとした人が8割います。やはり旅行は健康によい影響があるということです。また観光庁のまとめでは旅行行くと「心の変化」「行動の変化」「身体の変化」があり、まず「心の変化」では旅行先で満足感、幸福感を感じ、「行動の変化」では外出機会の創出につながり、「体の変化」としてはストレス状態の緩和や身体機能の活性化につながるという事です。非日常の体験である旅行は、リフレッシュなど体に非常に良い効果をもたらしているということです。さて、心理学者小口孝司さんによると、この精神的な健康を高める効果は、「メンタルヘルス・ツーリズム」であるが、それよりさらに幸福感、能力、創造性などを向上させる「ポジティブ・ツーリズム」があるといえます。これは「冒険心を満たし能力を伸ばす」旅

行をすることにより自身の生産性が上がり、新たな考えが浮かび、さらにはストレスに強くなると話します。それでは、どのような旅行が「ポジティブ・ツーリズム」になるか、それは目的をもち「自分の能力を発揮」できるような旅行であり、クリエイティビティ、ストレス耐性もあがり様々なスキルアップにつながる、ということです。例をあげると自分の能力を発揮できるような海外ボランティアに行き、貢献する。そうするとさまざまな能力が上がり意欲も向上する、これらは既に企業研修等でも取り上げられているということです。もう一つ違う角度から旅行の効果を見てみましょう。溝尾良隆教授がまとめた“Tourism × 旅の本質”では、旅行中での「相互交流により異文化を理解し、国際平和の安定に貢献する」と書かれています。国際連合は1967年「Tourism, Passport to Peace」をスローガンとし、核兵器や弾道ミサイルを保有するのはハードパワー、それに対し旅行による異文化理解は「平和へのソフトパワー」であり、これは世界の平和構築へ大きな貢献がある、としています。このように見ていくと、旅行には「リフレッシュ効果」「健康増進」があり、それ以上のものとして旅行の仕方によって「創造性育成」「平和構築」等素晴らしい価値を生み出す事が分かっています。ここで手前味噌になりますが私が行った旅行を紹介したいと思います。スライドの写真をご覧下さい。最初にタイの写真、これは浅原ガバナーと私が共に行った3350地区大会参加とサートン・ロータリークラブとの交流・グローバル補助金プロジェクトでタイ東部にて医療機器贈呈した写真です。次はベトナムに行った時、ハノイ・ロータリー

クラブと奉仕事業を一緒にディスカッションしている写真、ハノイ・ロータリークラブは出来たばかりで、様々な事業を検討しています。3つは2019年のものですがブラジル・リベリターデRCと交流した時の写真です。これは犯罪発生率が高い街で、ロータリーが職業訓練所を作って、子供達の手を職につけさせ犯罪率を下げる活動の場所に訪問した写真です。今紹介した旅は旅行といっても「ロータリーの旅」です。しかし、見ていただくと分かりますが、これらは「ロータリーでしかできない旅」だと思います。それは「同じビジョンを持った仲間との出会い」「目的を共に取り組む旅」「共通のロータリー文化を持ち」「一緒に行動することによって友達ができる旅」です。そして、先ほどお話しした「ポジティブ・ツーリズム」「Tourism, Passport to Peace」という観点からみても、その要素を大きく持ち合わせた旅にもなります。「ロータリーの旅」は普通の旅行とは異なります。ロータリーの目指す世界理解と平和につながり、自己研鑽や向上にも大きな効果があります。そして親睦のネットワークが世界的に広がる旅になります。これは他にはない、大きな価値を生み出す旅になると言えます。ここで一つロータリープログラムを紹介したいと思います。「ロータリー友情交換」です。これは一週間を最短としてロータリアンが他の国に行き、自分の国でも迎え入れるというプログラムですが、これも友情を深めることができるというものです。「ロータリーの旅」には他では経験できない、旅の深さがあります、出会いがあります、そして発見があります。そして、その扉はいつでも開かれています。皆さんもロータリアンとして「ロータリーの旅」

を是非お楽しみください。

「ロータリーの旅」

2023年4月10日
会長 塚月 晋行

人はなぜ旅行に行くのでしょうか？

旅行による効用の検証 観光庁2013年

(1)旅行継続率へのアンケート調査

- 旅行の主な目的
 - ・リラックス
 - ・趣味・楽しみ
 - ・初めて訪れる場所の文化や地元の人々とのふれあい

旅行はどのような変化を人にもたらすのでしょうか？

旅行による効用の検証 観光庁2013年

- 旅行継続率に基づく身体機能の変化
- 継続率連動効果の有無

旅行による効用の検証 効用のまとめ

心の変化	行動の変化	身体の変化
<ul style="list-style-type: none"> 旅行への期待 旅行先での楽しみ 帰国後の満足感 	<ul style="list-style-type: none"> 外出機会の増加 旅行先での運動 	<ul style="list-style-type: none"> ストレス状態の緩和 身体機能の活性化

心理学者 小口孝司 ポジティブ・ツーリズムについて

冒険心を減らし能力を伸ばす

ポジティブ・ツーリズムの概念モデル

冒険心を減らし能力を伸ばす

「Tourism × 旅の本質」人はなぜ旅に出るのか

旅-旅行の価値

多くの人が旅の目的で旅行に出かけ、その旅を知る、その旅の人と接する。一方、海外から日本に来て、日本を知る、日本人と接する。こうした相互交流により異文化を理解し、国際平和の促進に貢献するのである。

国際連中は1967年の国際観光年で「Tourism, Passport to Peace」をスローガンとした。観光業界で最も注目されるのが「ロータリー」であり、それに沿って「観光文化理解はソフトパワー」である。日本が国際の中心で輝くと、政治の世界で礼儀があっても、それと関係が薄いので関係を保っているのは、お互い旅行を通してその国の人を知る、その国の人を知りたいからである。

実は私も旅行に行ってきました

ベトナム ハノイFC との交流 (2023年2月)

ブラジル リベラリアFC との交流 (2019年)

タイ 3350地区 サートンRCとの交流 (2023年2月3日)

「ロータリーの旅」

ロータリープログラム「ロータリー友情交換」
Rotary Friendship Exchange

友情交換は、ロータリー会友やその友人、ロータリー会に属するプロのボランティアで、参加者が互いの国を訪問し、異文化の交流を深めることを目的としています。

プログラムのメリット

- 国際的視野を深める・特定の職業について知識を広げる
- 未知な文化を深く理解し異文化理解の機会を確保
- プロのボランティアや支援の機会を見つける
- 訪問した地域の文化、言語、歴史、風土人情等を学ぶ
- 補助金活動のパートナーも見つかる

「ロータリーの旅」には

他では経験できない

- ・旅の深さがあります
- ・出会いがあります
- ・発見があります

「ロータリーの旅」の扉はいつでも開かれています

是非皆さんも「ロータリーの旅」をお楽しみください

●ゲストご挨拶●

フィリピン第3820地区
次年度国際奉仕委員長 ジーン・ロポさん
ご来静の皆様のご紹介をいただきました。日本の皆さんは、人が良く優しい方が多いです。ぜひ日本と良い関係を築きたいと思います。

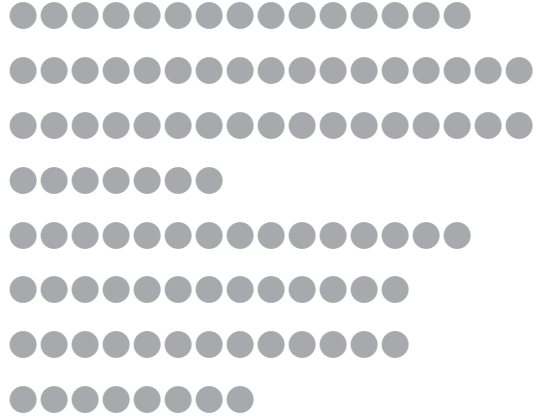
ガバナーエレクト ウィリアム・デローロさん
私たちは、皆様とロータリーフレンドシップを深めるために来ました。このような機会をいただきありがとうございます。

地区幹事 ライアン・バスタレチェさん
第3820地区の説明と、皆さんが現在やっているプロジェクトの説明がありました。我々ロータリアンは、発展し続け、変わり続けるために、問題を探し、解決することをしないとなりません。

●新会員紹介●

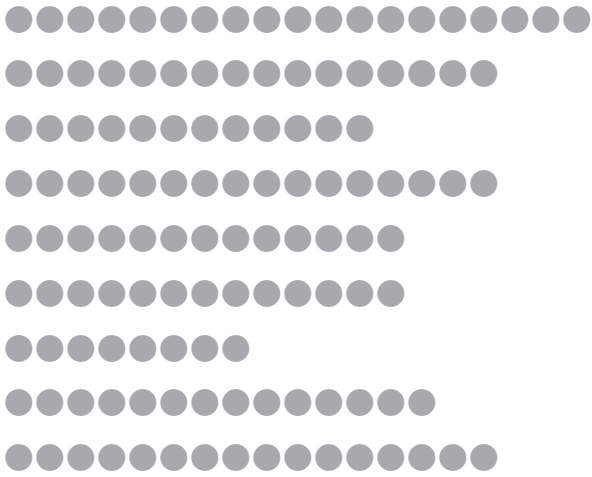


寺西 彰さん
(てらにし あきら)





谷口 芳浩さん
(たにぐち よしひろ)



●米山奨学生ご挨拶●

東海大学 航海工学科 海洋機械工学
ソリマン・ゼアドさん
エジプト出身で、現在東海大学で自立運航船舶の技術開発の研究をしています。新しいことに挑戦することが好きなので、ロータリークラブの活動も積極的にしていきたいです。

●委員会報告●

環境保全委員会 委員長 塩原太一郎君
(欠席のため 幹事 藤田博久君が報告)



5月8日の例会後に「鈴与菊川バイオガズプラント見学会」を開催します。

新会員親睦委員会 委員長 木村絵美君



新会員紹介ページを作成します。本年度現在14名の方が入会しています。提出をよろしくお願いいたします。

(〇おめでとう 〇スマイル 〇出席報告 は、時間の関係で次回にすることになり省略。)

●ゲスト卓話●

「東アジア文化都市と舞台芸術の役割」
静岡県舞台芸術センター 芸術総監督
宮城 聰さん



東アジア文化都市とは、日本・中国・韓国の3か国で、それぞれがその年の文化の顔となる都市・自治体を決め、文化を知ってもらう活動です。ヨーロッパでは、ミサイルを向けあっていた国々が、お互いを理解するために「文化」を使うことを考え、「欧州文化都市」という活動が始まりました。それに習い、東アジアでも、日本・中国・韓国は価値観が対立していてそう簡単にはいかないので、カタストロフ・破綻に到達しないために、「文化」の交流だけは残しておこうと考えました。それぞれの国の文化が異なるのは、DNAの違いではありません。日本のオリジナリティは、「日本語」と「日本の気候・風土」が作っています。この二つを大切にしないとなりません。また、世界にアピールしていく必要があります。演劇ほどその国の言語をアピールするものではありません。世界の様々な緊張を緩和すること、また、相手の文化へのリスペクトを醸し出していくことが目標です。

